

✓お知らせ

- ①③④⑤⑦⑩⑪の向きは、カメラ起動時やメニュー操作後の本端末の向きにより変わることがあります。
- 画面をピンチアウト／ピンチインして拡大／縮小します。
- ⏏ ボタンを押して拡大／縮小することができます。

◆静止画（写真）撮影

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で[📷] ボタンを長押ししても静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替え] / [いいえ] をプレスします。

2 撮影画面に被写体を表示し、ピントが合ったら📷(シャッターボタン)をタッチまたは[📷] ボタンを押す

シャッター音が鳴り、静止画が撮影され、保存されます。

- 撮影した静止画を確認するには、撮影画面で[メニュー] ▶ [撮った写真を見る] とプレスします。撮影画面で画像のサムネイルをプレスしても、確認することができます。

3 撮影が終了したら[戻る]

カメラを終了します。

✓お知らせ

- 撮影した静止画は、JPEG（拡張子「.jpg」）のファイル形式で保存されます。
- 静止画撮影時のズームは、いずれの撮影サイズも最大約8.0倍です。内側のカメラはズームに対応していません。
- スマイルムービー機能により、人の顔を検出したときに、同時に動画をアルバムアプリへ自動保存するように設定されています。→p.83

◆静止画（写真）の撮影設定

静止画撮影画面で[メニュー]をプレスすると、次のメニューを操作することができます。

- 内側のカメラでは設定できない項目があります。
- 他の機能から連携してカメラを起動したときには、設定できる項目が異なる場合があります。

■残り撮影可能枚数表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り撮影可能枚数の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り撮影可能枚数は変化します。

■動画

動画の撮影画面に切り替えます。

■便利機能

カメラを次の撮影モードに切り替えて利用できます。

撮影モード	説明
パノラマ	パノラマ写真を撮影します。→p.84
QRコード	カメラをQRコードの読み取りに利用します。→p.87
拡大鏡	カメラのズーム機能で拡大鏡として利用できます。→p.84
ポートレート	人物撮影時に背景をぼかして撮影できます。→p.84
LiveAutoZoom	撮影画面上で被写体を指定してズーム・追尾して静止画／動画が撮影できます。→p.86
花認識	花を撮影してAI機能により花の名称などが検索できます。撮影した花の画像は「花ノート」で管理できます。→p.86

■内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。

■撮影サイズ

静止画の大きさ、撮影サイズを設定します。

- お買い上げ時は、[9Mワイド 4128×2336]（外側のカメラ）、[3Mワイド 2592×1458]（内側のカメラ）に設定されています。

■フラッシュ

フラッシュの設定を、オフ／オート／オンから選択できます。オートに設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。[オン]に設定すると、周囲の明るさに関係なくフラッシュが点灯します。

- オンの場合は、静止画撮影画面に  (フラッシュボタンオン) が常時表示されます。オートまたはオフの場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面に  (フラッシュボタンオート) または  (フラッシュボタンオフ) が表示されます。表示されたアイコンをプレスして、オート／オン／オフを切り替えることもできます。
- [HDR撮影] を設定した場合にはフラッシュは点灯しません。また、夜景撮影の際は場所によって点灯しない場合があります。

■その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中は 、取得すると  のアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先切替：撮影データの保存先 (SDカード／本体) を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

HDR撮影：撮影時に露光時間が異なる (長時間露光と短時間露光) 2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

タイマー：シャッター操作をしてから3秒後／10秒後に撮影されるように設定します。

- 外側カメラの場合、撮影画面でシャッターを押すと、セルフタイマーの進行がわかるようにカウント音が鳴ります。内側カメラの場合は、カウント音と同時に画面右上 (縦画面時) または画面左上 (横画面時) に残り秒数が表示されます。残り秒数の表示を見るようにするとカメラ目線で撮影できます。
- タイマーのカウント中にシャッターを押すと、タイマーを中止します。

タッチシャッター：撮影画面の被写体にタッチして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

スマイルムービー：撮影時に人の顔を検出したときに同時に動画を保存したり、常に動画も保存するように設定します。

切替ボタン表示：撮影画面への「内／外カメラ切替」ボタンと「花認識切替」ボタンの表示／非表示を設定します。

■撮った写真を見る

アルバムアプリを起動して、直前に撮影した静止画を確認できます。

- 撮影前の場合はアルバム一覧画面が表示されます。

❖静止画 (写真) の自動撮影機能

次の機能は、設定なしに自動的に調整されて撮影できます。

オートフォーカス：被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけでフォーカス枠を表示して自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。ピントが合うと、緑色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合っていないときは、フォーカス枠は赤く表示されます。

タッチオートフォーカス：撮影画面の被写体にタッチして自動的にフォーカス枠を表示してピントを合わせます。ピントが合うと、緑色のフォーカス枠が表示されお知らせ音が鳴ります。

ホワイトバランス：さまざまな光源 (太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など) の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

自動露出調整：撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体にプレスして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先します。

ちらつき補正：蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

手ぶれ補正：撮影時の手ぶれは自動的に補正されるように設定されています。

QRコード読み取り：QRコードを撮影画面に表示した場合は、QRコードを自動的に読み取って結果を表示します。

◆パノラマ撮影

カメラを撮影したい方向（上下／左右いずれか）にゆっくりと動かすことでパノラマ写真が撮影できます。

- 内側のカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で[] ボタンを長押ししても静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替え] ／ [いいえ] をプレスします。

2 [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [パノラマ]

パノラマ撮影の画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示し、 (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をすらすら速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が完了してパノラマ画像が保存されます。

- カメラを動かし続けてシャッターを押さずに撮影が完了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

5 撮影が終了したら[戻る]

カメラを終了します。

◆ポートレート撮影

カメラの撮影モードを「ポートレート」にして撮影します。撮影画面上で人の顔を認識すると、背景をぼかした写真が撮影できます。

- 被写体や撮影状況により、背景がぼけない場合があります。

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

2 [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [ポートレート]

3

- 画面にスライドバーが表示され、左右にスライドしてぼかしのレベルを調整します。

4 [決定]

5 撮影画面に被写体を表示し、顔を認識したらシャッターボタンをタッチまたは ボタンを押す

◆拡大鏡

カメラのズーム機能を利用して細かい文字などを約2倍～16倍に拡大して画面に表示できます。拡大した画面はシャッターを押してそのまま撮影することもできます。

- 拡大鏡は外側のカメラを使って縦画面でのみご利用になります。
- 被写体からカメラを約10cm離してご使用ください。
- 撮影サイズは、縦1920×横1080のみとなります。

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

2 [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [拡大鏡]

画面に撮影モードの (拡大鏡) が表示されます。

3 対象にカメラを向ける

約2倍に拡大された画面が表示されます。ズーム操作で表示の拡大率を調整できます。

撮影する： (シャッターボタン) をタッチまたは ボタンを押す

撮影の設定： 拡大鏡の撮影画面で [メニュー]

- [ライト] ／ [位置情報] ／ [保存先切替] のいずれかをプレスして設定します。

4 [戻る]

拡大鏡を終了します。

✓お知らせ

- 拡大鏡は、ホーム画面で [便利ツール] ▶ [拡大鏡] とプレスしても起動できます。

◆動画（ビデオ）撮影

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

静止画の撮影画面が表示されます。

- ホーム画面で[📷] ボタンを長押ししても静止画の撮影画面を表示できます。
- 起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[切り替え] / [いいえ] をプレスします。

2 [メニュー] ▶ [動画]

動画の撮影画面が表示されます。

- 操作1で[📷] をプレスしても動画の撮影画面に切り替えることができます。

3 撮影画面に被写体を表示して[📷] (録画開始ボタン)をタッチまたは[📷] ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 録画中に[📷] をプレスすると、録画しながら静止画も撮影できます。

4 [📷] (録画終了ボタン)をタッチまたは[📷] ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が終了して保存されます。

- 撮影した動画を確認するには、撮影画面で[メニュー] ▶ [撮ったビデオを見る] とプレスします。撮影画面で画像のサムネイルにプレスしても、確認することができます。
- 撮影開始後2秒間は停止の動作はできません。

5 撮影が終了したら[戻る]

カメラを終了します。

✓お知らせ-----

- 撮影した動画は、MPEG-4 (拡張子「.mp4」) のファイル形式で保存されます。
- microSDカードを使用して録画データを保存する場合は、SDスピードクラスがClass4以上のmicroSDカード (別売) / microSDHCカード (別売) / microSDXCカード (別売) をご利用になることをおすすめします。
- 動画撮影時のズームは、いずれの撮影サイズも最大約8.0倍です。内側のカメラはズームに対応していません。

◆動画（ビデオ）の撮影設定

動画撮影画面で[メニュー] をプレスすると、次のメニューを操作することができます。

- 内側のカメラでは設定できない項目があります。

■残り録画可能時間表示

メニュー画面の左上に、設定している保存先の空き容量で保存できる残り録画可能時間の目安が表示されます。保存先の空き容量、撮影サイズにより残り録画可能時間は変化します。

■静止画

静止画の撮影画面に切り替えます。

■便利機能

カメラを次の撮影モードに切り替えて利用できます。

撮影モード	説明
パノラマ	パノラマ写真を撮影します。→p.84
QRコード	カメラをQRコードの読み取りに利用します。→p.87
拡大鏡	カメラのズーム機能で拡大鏡として利用できます。→p.84
ポートレート	人物撮影時に背景をぼかして撮影できます。→p.84
LiveAutoZoom	撮影画面上で被写体を指定してズーム・追尾して静止画／動画が撮影できます。→p.86
花認識	花を撮影してAI機能により花の名称などが検索できます。撮影した花の画像は「花ノート」で管理できます。→p.86

■内／外カメラ切替

外側のカメラと内側のカメラを切り替えます。

■撮影サイズ

動画の大きさ、撮影サイズを設定します。

- お買い上げ時は、[フルHD 1920×1080] (外側のカメラ)、[フルHD 1920×1080] (内側のカメラ) に設定されています。
- 1件のドコモメールで送受信できるファイルサイズは、本文や添付ファイルなどを含めて最大10MBまでです。そのため、より長時間の動画を添付したい場合は撮影サイズを[サイズ小 640×480] に設定することをおすすめします。

■ライト

暗いところで録画する際に、撮影ライトを点灯させるかどうかを設定します。

■その他

保存先切替: 録画データの保存先 (SDカード／本体) を選択します。

- ・ 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

手ぶれ補正: 撮影時の手ぶれを自動的に補正するように設定します。

切替ボタン表示: 撮影画面への「内／外カメラ切替」ボタンの表示／非表示を設定します。

■撮ったビデオを見る

アルバムアプリを起動して、撮影した動画を確認できます。

- ・ 撮影前の場合はアルバム一覧画面が表示されます。

◇動画 (ビデオ) の自動撮影機能

次の機能は、自動的に調整されます。

オートフォーカス: 録画開始前および動画撮影中に被写体の動きを検出してフォーカスします。

ホワイトバランス: さまざまな光源 (太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など) の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

◆LiveAutoZoom撮影

撮影画面で狙った被写体をタッチ (タップ) するかまたは丸で囲むと、自動で被写体をズームして画面中央に配置した追従状態の動画が撮影できます。

- ・ LiveAutoZoomでの撮影サイズは、「フルHD」(1920×1080) のみとなります。
- ・ 被写体と同系色の背景上で撮影している場合、背景の一部が選択された状態となったり、追従が外れてしまうことがあります。
- ・ 同様の形状の被写体と重なった場合、追従が外れてしまうことがあります。
- ・ 背景の一部が選択されたり、追従が外れたりした場合、撮影画面で被写体をタッチ (タップ) するか、または丸で囲み、再選択してください。

1 ホーム画面で[カメラ・ビデオ]

2 [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [LiveAutoZoom]

撮影画面がLiveAutoZoomモードに変わります。

3 ズームする被写体をタッチ(タップ)または丸で囲む

被写体に丸い水色のフォーカス枠が表示され、被写体をズームします。

- ・ [解除] をタッチ (タップ) するとフォーカスを解除します。
- ・ 被写体選択後は、撮影中を含めて ボタンまたは画面のピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小することができます。

4 (開始) または ボタンを押す

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

5 (終了) または ボタンを押す

撮影停止音が鳴り、撮影が停止して保存されます。

✓お知らせ

- ・ 撮影前および撮影中、水色のフォーカス枠内をタッチ (タップ) すると、フォーカス枠がグレーに変わりズームを一時的に解除します。もう一度タッチ (タップ) するとズームします。フォーカス枠外の別の被写体をタッチ (タップ) する (または丸で囲む) と、フォーカスの対象が変わります。
- ・ 被写体が撮影画面の中央から多少ずれた場合、フォーカス枠が赤色に変わりズームは一時的に解除されます。再び被写体を撮影画面にとらえると、フォーカス枠が水色に変わりズームします。ただし赤色のフォーカス枠が3秒以上続くズームが解除されますので、再度または別の被写体をタッチ (タップ) してズームします。

◆花認識モード撮影

「花認識」は、花の撮影に特化した撮影モードです。名前のわからない花の写真を、AI機能により花の名前などの情報を検索したり、連携する「花ノート」アプリに登録して整理したりすることができます。

- ・ 花認識モードでの撮影サイズは「フルHD」(1920×1080) のみとなります。

1 ホーム画面で[花ノート]

花ノートの画面が表示されます。

2 [花ノートを作る] ▶ [花認識]

3 [花を撮影する]

カメラの花認識モード (縦画面) の撮影画面が表示されます。

4 被写体を四角い枠におさめて をタッチ

花認識の画面が表示されます。

5 [認識をはじめる]

花認識機能が選んだ花（画像と名前）の候補が表示されます。

- 撮影し直すときは「もう一度撮影する」をプレスします。

6 候補を選択

花の名前を登録する確認画面が表示されます。

7 [登録する] ▶ [OK]

「花ノート」に撮影した画像が花の名前とともに登録されます。

- 「インターネットで調べる」をプレスすると、花情報の検索結果画面が表示され、撮影した花に関する詳細情報を閲覧できます。

✓お知らせ

- カメラの撮影画面で  をプレスしたり、撮影画面で [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [花認識] とプレスしても、花認識モードの撮影画面を表示できます。操作4以降の操作で花ノートに登録できます。
- 花ノートの画面で [花認識] ▶ [アルバムから選ぶ] をプレスして、すでに撮影した花の写真を選択すると、操作6以降の操作で花ノートに登録することもできます。
 - 花ノートに登録できる画像ファイルは、JPEGまたはPNG形式で、縦横サイズは「224×224」以上です。
- 操作6で「わからない 候補にない」をプレスすると、[花の名前を登録する] で名前の入力やリストで選択して登録できます。[らくこみで名前を聞く] で名前を問い合わせることができます。[後で名前を登録する] を選択すると「わからない花」に分類されます。
- 花ノートの画面で [メニュー] ▶ [SDカード保存と復元] をプレスすると、microSDカードへ保存・復元ができます。
- 花認識機能はすべての花の認識を保証するものではありません。

◆QRコード読み取り

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取ることがあります。

1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [QRコード読み取り]

QRコード読み取り画面が表示されます。

2 読み取り画面にコードを表示

読み取りが完了すると、読み取り結果画面が表示されます。

ライトのON/OFF：[メニュー] ▶ [ライト ON] / [ライト OFF]

読み取り履歴の表示：[メニュー] ▶ [履歴] ▶ 履歴を選択

静止画の撮影：[メニュー] ▶ [静止画撮影に切替]

動画の撮影：[メニュー] ▶ [動画撮影に切替]

3 読み取りデータを確認

読み取りデータの保存：[メニュー] ▶ [履歴を保存] ▶ 履歴保存欄を選択 ▶ [OK]

読み取り結果が保存されます。

- 履歴は5件まで保存できます。すでに5件保存されている場合は、既存の履歴保存欄をプレスすると、上書き保存できます。

✓お知らせ

- QRコードの読み取りは、ホーム画面で [カメラ・ビデオ] ▶ [メニュー] ▶ [便利機能] ▶ [QRコード] とプレスしても起動できます。

❖QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 操作できるメニューは、読み取ったデータによって異なります。

電話をかける：電話番号をプレスして電話をかける
電話帳に一括登録：[メニュー] ▶ [電話帳一括登録] ▶ [OK]

メールの作成：メールアドレスをプレス ▶ メールアプリを選択してメールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLをプレス
読み取りデータのコピー：[メニュー] ▶ [コピー] ▶ [OK]

アルバム

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

◆ 画像の表示／再生

1 ホーム画面で【アルバム】

アルバムの一覧が表示されます。

- microSDカードをご使用の場合、初回起動時は本体に保存されているデータをmicroSDカードに移動するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

2 アルバムを選択

画像（写真やビデオなど）の一覧が表示されます。

- ビデオ（動画）の画像は、アルバムや画像の一覧でアルバムや画像の両端にフィルム枠が表示されます。
- スマイルムービー機能で撮影した写真には  が表示されます。選択して「動画を再生」をプレスすると再生できます。

3 画像を選択

画像（写真やビデオ）が表示されます。

- 前後の画像に切り替えるには、画像を左右にフリックします。
- ビデオを選択した場合、（動画再生ボタン）をプレスすると、ビデオが再生されます。
- 動画を再生する際、「使用するアプリを選択」画面が表示された場合は、アプリのアイコンをプレスし、「今回のみ」／「常時」をプレスしてください。

■ アルバム一覧での主な操作

アルバム別／日付別／お気に入り別に表示：[一覧]／[日付]／[★]をプレス

アルバムの削除：[メニュー] ▶ [選択して削除する] ▶ アルバムを選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

アルバムの作成：[メニュー] ▶ [アルバムを作成] ▶ 作成先を選択 ▶ アルバム名を入力 ▶ [決定] ▶ [OK]

アルバム名の変更：[メニュー] ▶ [アルバム名を変更] ▶ アルバムを選択 ▶ アルバム名を入力 ▶ [決定] ▶ [OK]

写真の撮影：[メニュー] ▶ [写真を撮影する]

スマイルムービーの削除：[メニュー] ▶ [スマイルムービーを削除] ▶ ビデオを選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

■ 画像一覧での主な操作

メールで送信：[メニュー] ▶ [メールで送る] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [添付する] ▶ メールを作成して送信

めくってピクチャーに追加：[メニュー] ▶ [めくってピクチャーに追加] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [追加する] ▶ [設定する] ▶ [OK]

めくってピクチャーを削除：[メニュー] ▶ [めくってピクチャーを削除] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

らくらくコミュニティに投稿：[メニュー] ▶ [らくらくコミュニティに投稿] ▶ 画像を選択 ▶ [投稿する]

画像の削除：[メニュー] ▶ [選択して削除する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [削除する] ▶ [OK]

画像の移動：[メニュー] ▶ [選択して移動する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ 移動先のアルバムを選択 ▶ [移動する] ▶ [OK]

お気に入りの解除：[メニュー] ▶ [選択してお気に入り解除] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [解除する] ▶ [OK]

日付別で表示：[メニュー] ▶ [日付別表示に変更]

スライドショーの起動：[メニュー] ▶ [スライドショーを起動]

アルバム名の表示：[メニュー] ▶ [アルバム名を表示] ▶ [OK]

選択して共有：[メニュー] ▶ [選択して共有する] ▶ 画像を選択 ▶ [完了] ▶ [共有する] ▶ 共有先のアプリを選択

■ 画像（写真／ビデオ）表示中の主な操作

前後の画像に切り替え：（前の画像）／（次の画像）をプレス

メールで送信：[メールで送る] ▶ メールを作成して送信

お気に入りの登録／解除：[☆お気に入りに登録]／[★お気に入り解除]

✓お知らせ

- 表示するタブやアルバムにより操作できるメニューは異なります。
- 画像（写真やビデオ）を表示中に[メニュー]をプレスすると、めくってピクチャーに追加、らくらくコミュニティに投稿、削除、移動、トップ画面への貼り付けなどの操作ができます。ただし、画像の種類により、操作できるメニューは異なります。
- 画像（写真）を表示中に、同時に撮影されたスマイルムービーがある場合には、「動画を再生」が表示されます。
- トップ画面に設定した写真を移動／削除すると、トップ画面に表示されなくなります。

地図／GPS機能

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国防総省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体左上部分にGPSアンテナが内蔵されていますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内

- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆位置情報サービスの設定

❖位置情報機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [位置情報アクセス]

位置情報アクセス画面が表示されます。

2 [位置情報機能]を[オン]

3 [同意する]

✓お知らせ

- 位置情報アクセス画面で [Google 位置情報の精度] ▶ [位置情報の精度を改善] とプレスすると、GPS測位の精度を変更することができます。位置情報機能をオンにすると設定できます。
- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆Google マップ

Google マップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、5G/LTE/3G/GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。→p.89
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google] ▶ [マップ]

- Google マップの操作については、画面の三をプレスして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の案内に従って操作してください。

◆メモの作成／編集

- 1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [メモ]
- 2 [メモの新規登録]
メモの編集：メモを選択 ▶ [メニュー] ▶ [編集する]
- 3 メモの件名と詳細を入力
画像の添付：[追加] ▶ [今から撮影する] ／ [アルバムから選ぶ]
・添付した画像を変更する場合は、[変更] ▶ [今から撮影する] ／ [アルバムから選ぶ] ／ [添付画像を解除] を押します。
- 4 [登録する] ▶ [OK]

◆メモの表示

- 1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [メモ]
メモの一覧画面が表示されます。
- 2 メモをプレス
メモの内容画面が表示されます。

■メモの一覧画面での主な操作

メモの並び替え：[メニュー] ▶ [一覧の並び替えを行う] ▶ 並び順を選択
メモの表示方法変更：[メニュー] ▶ [一覧の表示方法を変更] ▶ 表示方法を選択
クラウドのデータと同期※1※2：[メニュー] ▶ [クラウドと同期] ▶ 画面の案内に従って操作
ドコモクラウドの利用※2：[メニュー] ▶ [クラウド設定] ▶ 画面の案内に従って操作
メモの全件削除：[メニュー] ▶ [全件削除] ▶ [削除する] ▶ [OK]
my daizの利用：[メニュー] ▶ [my daizへ]
アプリケーションの情報：[メニュー] ▶ [アプリケーション情報]

※1 [クラウドと同期] の操作にはパケット通信料がかかります。
※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド] ▶ [ドコモクラウド] をプレスして設定を行います。
ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに保管したり、パソコンでデータを編集したりできます。
[クラウド設定] の操作にはパケット通信料がかかります。

■メモの内容画面での主な操作

メモの編集：[メニュー] ▶ [編集する] ▶ メモの件名と詳細と添付を編集 ▶ [編集を完了] ▶ [OK]
メモの削除：[メニュー] ▶ [削除する] ▶ [削除する] ▶ [OK]
メモの画像を保存：[メニュー] ▶ [画像保存] ▶ [本体へ保存] ／ [SDへ保存] ▶ [OK]
メモの共有：[メニュー] ▶ [共有する] ▶ 共有するアプリを選択

スケジュール

予定を管理できます。

- 1 ホーム画面で[スケジュール]
カレンダー画面が表示されます。

■カレンダー画面での主な操作

先月／翌月の切り替え：◀(先月)／▶(翌月)を
プレス

予定を登録：[メニュー] ▶ [予定の登録]

予定一覧の表示：[メニュー] ▶ [予定の一覧]

今月に切り替え：[メニュー] ▶ [当月に移動]

クラウドのデータと同期^{※1}：[メニュー] ▶ [クラウド
と同期] ▶ 画面の案内に従って操作

通知のオン／オフ設定：[メニュー] ▶ [設定] ▶
[通知の設定] を [オン] / [オフ]

予定通知時の振動の動作を設定：[メニュー] ▶ [設
定] ▶ [振動の設定] ▶ 動作を選択 ▶ [OK]

ドコモクラウドの利用^{※2}：[メニュー] ▶ [設定]
▶ [クラウド設定] ▶ 画面の案内に従って操作

海外利用の設定：[メニュー] ▶ [設定] ▶ [海外利
用設定] ▶ [海外利用設定] を [オン] / [オフ]

スケジュールの全件削除：[メニュー] ▶ [全件削
除] ▶ [削除する] ▶ [OK]

i スケジュールの一覧表示：[メニュー] ▶ [i スケ
ジュール一覧へ] ▶ 画面の案内に従って操作

my daizの利用：[メニュー] ▶ [my daizへ]

アプリケーションの情報：[メニュー] ▶ [アプリ
ケーション情報]

※1 [クラウドと同期] の操作にはパケット通信料がか
かります。

※2 ドコモクラウドを初めて利用する場合は、ホーム画
面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド
] ▶ [ドコモクラウド] をプレスして設定を行いま
す。

ドコモクラウドを設定すると、データをサーバーに
保管したり、パソコンでデータを編集したりできま
す。

[クラウド設定] の操作にはパケット通信料がかか
ります。

◆予定の登録

- 1 カレンダー画面で[メニュー] ▶ [予定の登
録]
- 2 各項目を設定
- 3 [登録する] ▶ [OK]

◇通知の時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で予定の
表示や通知の停止ができます。

- 1 通知画面で目的の操作を行う

予定の表示：[予定を表示する]

詳細画面が表示されます。[メニュー] をプレス
すると、予定の修正や削除ができます。

通知の停止：[閉じる]

◆予定の表示

スケジュールに登録した予定の詳細を表示します。

- 1 カレンダー画面で日付をプレス

・選択した日付の予定一覧で [メニュー] をプ
レスすると、[当日に戻る] / [予定を登録す
る] / [削除する] / [my daizへ] のいず
れかの操作ができます。

- 2 予定をプレス

■予定の詳細画面での主な操作

予定の編集：[メニュー] ▶ [編集する] ▶ 修正する
項目をプレスして修正 ▶ [編集を完了] ▶ [OK]

予定の削除：[メニュー] ▶ [削除する] ▶ [削除す
る] ▶ [OK]

予定の画像を保存：[メニュー] ▶ [画像保存] ▶
[本体へ保存] / [SDへ保存] ▶ [OK]

予定の共有：[メニュー] ▶ [共有する] ▶ 共有する
アプリを選択

目覚まし

設定した時刻に目覚ましを鳴らすことができます。

◆目覚ましの登録／編集

1 ホーム画面で[目覚まし]

- 目覚まし一覧で[メニュー]をプレスすると、目覚ましの全件削除ができます。

2 [目覚ましの登録]

登録した目覚ましの編集：目覚ましを選択

- 目覚ましの左端にある目覚ましアイコンをプレスして、[目覚まし動作]を設定することもできます。

登録した目覚ましの削除：目覚ましを選択 ▶

[削除] ▶ [削除する] ▶ [OK]

- 操作3以降は必要ありません。

3 各項目を設定

目覚まし動作：目覚まし方法を設定したり、目覚ましの設定を停止したりします。

時刻：目覚ましの時刻を設定します。

繰り返し：目覚ましの繰り返しを設定します。

メモ：メモを設定します。

音：目覚まし音を設定します。

音量：目覚まし音の音量を設定します。

バイブレータ：目覚まし時刻に振動するかどうかを設定します。

4 [完了] ▶ [OK]

◆目覚ましの時刻になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止]または ボタンを押す

- [OK] ▶ [OK] をプレスすると、5分後に再通知されます。

お知らせタイマー

タイマーを設定します。

1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [お知らせタイマー]

2 時間を指定 ▶ [開始]

カウントダウンが始まります。

- カウントダウン中に[中断]をプレスすると、[中断して終了] / [タイマーに戻る] / [設定をやり直す] のいずれかの操作ができます。

◆指定した時間が経過すると

通知画面の表示、通知音、振動でお知らせします。次の操作で停止します。

1 通知画面で[停止] ▶ [OK]

-  ボタンを押しても停止できます。

電卓

1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [電卓]

2 計算する

すべて消去：[AC]

入力した字を1文字削除：[1字削除]

電卓の終了：[戻る]

✓お知らせ-----

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google 検索

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Google]
 - 初回起動時は確認画面が表示されます。画面の案内に従って操作してください。
- 2 キーワードを入力
文字の入力に従って検索候補が表示されます。
 - 文字を入力して[検索]をプレスすると、Webサイトの検索候補が表示されます。
- 3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Google]
▶ ▶ 送話口／マイクに向かってキーワードを発声
- 2 Webサイトの検索候補から選択

✓お知らせ

- Google 検索とフィードの詳細については、Google 検索画面で [その他] ▶ [ヘルプ] をタッチしてヘルプをご覧ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [データ移行]
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

◆ バックアップ・復元

- microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。
- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
 - 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
 - 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
 - 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
 - 画面ロック中やエコモードの作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

❖ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

2 [バックアップ] ▶ [バックアップ開始] ▶ [開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

3 [トップに戻る]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

2 [復元] ▶ [次へ] ▶ [復元開始] ▶ [開始する]

- 選択したデータが本端末に復元されます。

3 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

❖電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Google アカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [データコピー] ▶ [バックアップ&復元]

2 [電話帳アカウントコピー] ▶ コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

3 [OK]

かんたんお引越し

携帯電話の電話帳やスケジュール、写真や動画などのデータを、microSDカードを利用して本端末に移行できます。

- あらかじめ、携帯電話で移行したいデータをmicroSDカードにバックアップしておいてください。
- バックアップの方法については、携帯電話の取扱説明書等をご覧ください。

◆復元

1 ホーム画面で[便利ツール] ▶ [かんたんお引越し]

2 復元するデータにチェックを付ける ▶ [開始]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- お使いの携帯電話の機種やデータの種類によっては、データを移行できない場合があります。

安心データ保存

安心データ保存は、端末の故障などによってデータや設定が初期化されてしまったときに取り戻せるようにmicroSDカードに保存しておき、同一機種に復元するためのアプリです。大切なデータや設定を守るために定期的なバックアップを設定することをおすすめします。バックアップできる項目は次のとおりです。

画像※1

動画※1

音楽／ボイスレコーダー※1

文書

端末設定※2

連絡先※3、※4

通話履歴

目覚まし

Super ATOK ULTIAS for らくらく※5

伝言メモ

通話メモ／迷惑電話対策

SMS

インターネット

ワンタッチダイヤル

ホームカスタマイズ※3

アルバム設定※6

花ノート

※1 DRMコンテンツは対象外

※2 一部の設定項目は対象外

※3 着信音や画像の設定は端末ブリーンの音や画像を設定していたときのみ復元可

※4 docomoアカウント／Google アカウント／exchangeアカウントの電話帳データが対象

※5 入力方式の選択が対象

※6 画像のお気に入り登録情報が対象

※注意事項

- microSDカードに保存するデータは暗号化され、通常の方法で中を見ることはできませんが、microSDカードの紛失には十分ご注意ください。
- 端末でフォーマットしたmicroSDカード以外を使用する場合、サイズの大きなファイルが書き込めずにバックアップが失敗する場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってからバックアップしてください。→p.117
- データ容量によってはバックアップに時間がかかる場合があります。
- バックアップ実行中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- バックアップ中は電池の消費量が増える場合があります。電池残量が十分にあることをご確認の上バックアップしてください。
- microSDカードの容量が足りない場合、バックアップが途中で中断されることがあります。

- バックアップ中に端末の電源がオフになった場合、データが正しくバックアップされない場合があります。
- 復元は同一機種にのみ行えます。
- 復元を行うと、端末内の設定やデータはバックアップデータの内容に置き換わり、元々あった設定やデータは一部削除されます。なお、写真やビデオ等のデータは、それぞれ固定の保存先に復元されます。
- データ容量によっては復元に時間がかかる場合があります。
- データを正しく復元するために、復元中は以下の機能が抑止されます。復元中断や終了によって抑止は解除されます。
 - 復元中は端末が機内モードになり、通信ができなくなります。
 - 復元中は一部を除き端末の操作ができなくなります。
- 復元中に端末の電源がオフになった場合、データが正しく復元されない場合があります。復元するときは電池残量が50%以上あることをご確認の上、充電しながら復元してください。
- 復元が中断したり終了すると、端末は再起動します。
- 通話メモや迷惑電話対策は、スグ電（音声切断）や心の健康度（通話時に測定）と同時に利用できないため、スグ電（音声切断）や心の健康度（通話時に測定）の設定がオンの場合は、通話メモや迷惑電話対策の設定オンは復元されません。
- 緊急時ブザーの発信先番号は復元されません。登録していた場合は、必ず再度登録をしてください。

◆バックアップ

バックアップ機能は、端末のデータや設定をmicroSDカードに保存しておく機能です。microSDカードに保存するデータは暗号化され、通常の方法では中を見ることはできません。

1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [安心データ保存]

- 初回起動時は「使い方と注意事項」をご確認の上、「使い方と注意事項の内容に同意する」にチェックを付け「利用開始する」をプレスしてください。

2 [今すぐバックアップ] ▶ [OK]

- 画面の案内に従って操作してください。
- バックアップを中止する場合は [中止] をプレスします。

※定期バックアップ設定

オンに設定すると、毎日23時に定期的にデータをバックアップします。

1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [安心データ保存]

2 [定期バックアップ設定]を[オン]／[オフ]

◆データの復元

復元機能は、バックアップによってmicroSDカードに保存されたデータや設定を端末に復元する機能です。

1 ホーム画面で[あんしんツール] ▶ [安心データ保存]

- ・初回起動時は「使い方と注意事項」をご確認の上、「使い方と注意事項の内容に同意する」にチェックを付け「利用開始する」をプレスしてください。

2 [データの復元] ▶ 注意事項を確認して [データの復元を行う]

- ・画面の案内に従って操作してください。
- ・復元を中止する場合は「中止」をプレスします。

✓お知らせ

- ・ホーム画面で「あんしんツール」 ▶ 「安心データ保存」 ▶ 「前回のバックアップ/復元結果」とプレスすると、前回のバックアップ/復元結果を確認することができます。
- ・ホーム画面で「あんしんツール」 ▶ 「安心データ保存」 ▶ 「使い方と注意事項」とプレスすると、安心データ保存の使い方と注意事項を確認することができます。

健康測定・歩数計

歩数・歩速、心拍数、血圧、睡眠時間、心の健康度などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で[健康・ショッピング] ▶ [健康測定・歩数計]

初期設定画面（生年月日、身長、体重などの入力画面）が表示されます。

2 各データを入力 ▶ [始める]

ララしあコネクットのメイン画面が表示されます。

- ・年齢・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

- ・ララしあコネクットは、測定・管理することで身体の状況について関心を持ち、生活習慣の改善に役立てることを主な目的として、タブごとに次のことができます。

🏠：歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、心の健康度などを画面指示に従って計測

📊※：計測データを蓄積して、同年代の利用者内でのランキングを表示

👤：生年月日などの基礎データを入力

☁※：ララしあコネクットのデータをクラウドに同期

※ ご使用の際はララしあコネクットにログインする必要があります。

- ・心拍数測定のご使用時には、次のことにご留意ください。
 - 周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
 - 医療行為には使用できません。
- ・[脳の健康ケア]をプレスすると、達成した歩数から東海道五十三次の道のりを疑似体験しながら認知機能低下の予防に役立てたり、認知症予防に役立つコラムを読んだりすることができます。
- ・[血圧管理]をプレスすると、ご利用されている血圧計で測定した最高／最低血圧と脈拍数を入力し記録できます。また、ご利用の血圧計の測定結果をカメラで撮影することで、値を自動的に入力することもできます。

✓お知らせ

- ・その他の機能や操作などについては、☰をプレスして「ヘルプ・よくあるお問い合わせ」などをご覧ください。
- ・心の健康度は、PST社のMIMOSYSエンジンを使用して計測します。

脳の健康ケア

達成した歩数から東海道五十三次の道のりを疑似体験しながら認知機能低下の予防に役立てたり、認知症予防に役立つコラムを読んだりすることができます。

1 ホーム画面で[健康・ショッピング] ▶ [脳の健康ケア]

脳の健康ケアのメイン画面が表示されます。

- ララしあコネクトのメイン画面で「脳の健康ケア」をプレスしても起動できます。

2 機能を選択

- [設定] をプレスすると、プロフィールの設定や通知の有無などを設定することができます。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で【本体設定】をプレスして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照ページ
自分の電話番号		54 99
簡単モード切替	マナーモード	41
	ライト点灯モード	42
	運転中モード	99
	機内モード	100
	Wi-Fi	104
	Bluetooth	70
	位置情報機能	89
	画面の自動回転	100
	らくらくタッチ	103
	手袋タッチ	100
電話の設定	ネットワークサービス	51
	海外設定	125
	伝言メモ	49
	迷惑電話対策	50
	着信拒否設定	51
	通話メモ	50
	通話音声の自動調整	48
	電源ボタンで通話を終了	48
	スグ電設定	52
	ドコモへのお問合せ	52
画面・ランプの設定	オープンソースライセンス	
	トップ画面の設定	100
	ホーム画面の設定	100
	配色テーマの設定	101
	スマホかんたんモード設定	101
	画面の明るさ	101
	消灯までの時間	101
	おまかせズーム	101
	フォントサイズ	101
	フォント設定	101
	光を点滅させて通知	102
	詳細設定	102

メニュー		参照ページ
音・振動・タッチの設定	電話着信時の設定	102
	メール・通知音の設定	103
	メディア音量	103
	アラーム音量	103
	ダイヤルパッド操作音	103
	マナーモード時の振動	103
	着信／通知時の振動	103
	らくらくタッチ	103
	タッチ／プレス時の振動	104
	タッチ／プレス操作	104
通信の設定	詳細設定	104
	Wi-Fi	104
	Wi-Fi設定	
	Bluetooth	70
	Bluetooth設定	
	テザリング	106
	データ使用	106
	モバイル ネットワーク	107 123
	機内モード	100
	VPN設定	107
プライバシー		108
位置情報アクセス		89
セキュリティの設定	Google Play プロテクト	108
	デバイスを探す	
	セキュリティ アップデート	
	Google Play システム アップデート	
	ロック解除方法の設定	
	ロック解除方法の設定	108
	SIMカードロック*	110
	信頼できる認証情報	111
	証明書のインストール	111
	認証情報の消去	111
	通知の表示方法を設定	111
	スマートフォンの暗号化	111

メニュー	参照ページ
ドコモのサービス／クラウド	dアカウント設定
	ドコモクラウド
	ドコモアプリデータバックアップ
	ドコモアプリ管理
	おすすめアプリ
	おすすめ使い方ヒント
	ドコモ位置情報
	端末アプリ情報送信
	会員情報／プロフィール情報設定
	ドコモサービス初期設定
	USBデバッグ切替
	オープンソースライセンス
エコモードの設定	エコモード
	自動エコモード起動
	電池残量設定
音声読み上げの設定	音声読み上げ設定
	読み上げ単語登録
	読み上げ操作ガイド
	読み上げ操作練習
	タッチで動作設定
カメラキー長押しの設定	
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	
Google	
アプリケーションの削除	
その他	アカウントと同期
	キーボードと入力
	緊急時ブザー
	保存領域
	文字入力設定
	自分からだ設定
	バックアップ・リセット
	日付と時刻
	印刷
	診断データ送信
	端末情報
	高度な設定

※ nanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集できます。

- ホーム画面からの確認→p.54

1 ホーム画面で[本体設定]▶[自分の電話番号]

- ご自身の情報を入力、編集するには、[修正する]をプレスします。

簡単モード切替

- マナーモードについては、「マナーモード」をご覧ください。→p.41
- ライト点灯モードについては、「ライト」をご覧ください。→p.42
- Wi-Fiについては、「Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続」をご覧ください。→p.104
- Bluetoothについては、「Bluetooth機能オン／オフ」をご覧ください。→p.70
- 位置情報機能については、「位置情報機能」をご覧ください。→p.89
- らくらくタッチについては、「らくらくタッチの設定」をご覧ください。→p.103

◆運転中モードの設定

電話に出られない旨を発信者にガイダンスでお知らせします。

- 運転中モードを設定すると、ステータスバーに  (運転中モードのステータスアイコン) が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[簡単モード切替]

2 [運転中モード]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

-  ボタンを押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

◆機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi機能、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi機能およびBluetooth機能は機内モード中に手動で機能を有効にすることができます。

- 機内モードを設定すると、ステータスバーに（機内モードのステータスアイコン）が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]

2 [機内モード]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

- ⏻ ボタンを押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

◆画面の自動回転の設定

本端末の向きに合わせて画面を回転させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]

2 [画面の自動回転]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆手袋タッチの設定

手袋をしていてもプレス操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [簡単モード切替]

2 [手袋タッチ]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

- 手袋の素材によってはプレス操作がしづらい場合があります。
- プレス操作がしづらい場合は、指を覆かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- [手袋タッチ] を [オン] にした状態で手袋をはめずにプレス操作を行うと、プレスのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。

画面・ランプの設定

◆トップ画面の設定

トップ画面（誤操作防止用に表示される画面）に関するさまざまな設定を行います。

- トップ画面について→p.25

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [トップ画面の設定]

2 各項目を設定

トップ画像の設定：トップ画面に表示する画像や情報を選択します。

- [めくってピクチャー（複数画像）] ／ [アナログ時計] ／ [1枚画像] ／ [当月のカレンダー] のいずれかから選択できます。画面の案内に従って操作してください。

充電中の画面表示：充電中にトップ画面が表示されている場合は、画面を消灯しないようにするか、消灯までの時間の設定（→p.101）に従うかを設定します。

写真の切替時間設定：[トップ画像の設定] を [めくってピクチャー（複数画像）] に設定している場合は、次の画像に自動で切り替わるまでの時間を設定したり、切り替えないようにしたりできます。

◆ホーム画面の設定

ホーム画面に関するさまざまな設定を行います。

- ホーム画面について→p.37

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [ホーム画面の設定]

2 各項目を設定

アイコンの並べ替え：カテゴリ別アプリや、基本アプリ（電話／電話帳・メール・インターネット・ワンタッチダイヤル以外のアプリ）を移動します。基本アプリをカテゴリ別アプリエリアおよび「Google」フォルダと「ドコモサービス」フォルダに移動することはできません。

- [初期状態に戻す] をプレスすると、アプリの並び順をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

カテゴリの並び順変更：カテゴリの並び順を変更します。

ブックマークの貼付け解除：ホーム画面に貼り付けられているブックマークの貼り付けを解除します。

- ブックマークをホーム画面に貼り付けている場合に設定できます。→p.67

i チャンネル：i チャンネルの表示を契約に応じて切り替えるか、常に表示しないようにするかを設定します。

ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルを表示するかどうかを設定します。

Google 検索の表示：ホーム画面から直接 Google 検索が行えるウィジェットを表示します。

ホーム画面切替※1：ホーム画面を「標準ホーム」／「スマホかんたんホーム」から選択します。

スマホかんたんホーム設定※2：ホーム画面にワンタッチダイヤルシート／ウィジェットシートを表示するかを設定します。

ウィジェット：ホーム画面に表示するウィジェットの設定を行います。→p.44

※1 ホーム画面で「ホームカスタマイズ」▶「ホーム画面切替」と操作しても、ホーム画面を切り替えられます。

※2 ホーム画面を「スマホかんたんホーム」に設定した場合に表示されます。

◆配色テーマの設定

トップ画面と標準ホーム画面の配色を設定します。

- お買い上げ時の設定は、端末の色によって異なります。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[配色テーマの設定]

2 項目を選択▶[OK]

◆スマホかんたんモード設定

通常のスマートフォンに近い操作ができるモードに切り替えることができます。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[スマホかんたんモード設定]

2 [切り替える]

- ホーム画面が「スマホかんたんホーム」に、文字入力が「らくらくフリック入力」となり、「らくらくタッチ」がオフになります。

◆画面の明るさの設定

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[画面の明るさ]

2 各項目を設定

自動調整：周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動で調整するかどうかを設定します。

明るさ調整：画面の明るさの調整範囲を設定します。

◆消灯までの時間設定（スリープモード）

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[消灯までの時間]

2 時間を選択▶[OK]

◆おまかせズームの設定

タッチした場所を拡大するおまかせズーム（→p.30）を利用できるようにするかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]

2 [おまかせズーム]を[オン]／[オフ]

◆フォントサイズの設定

画面に表示される文字の大きさを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[フォントサイズ]

2 フォントサイズを選択

◆フォント設定

画面に表示される文字の書体を設定します。

1 ホーム画面で[本体設定]▶[画面・ランプの設定]▶[フォント設定]

2 フォントを選択▶[完了]

3 [OK]

- 本端末が再起動し、フォントが変更されます。

✓お知らせ

- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ランプの設定

不在着信など、本端末の状態をお知らせランプの点滅で通知するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定]

2 [光を点滅させて通知]を[オン]／[オフ]

◆画面・ランプの詳細設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [画面・ランプの設定] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

持ってる間ON：本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかどうかを設定します。

スクリーンセーバー：充電中、スリープモードになったときに表示する画像を設定します。スクリーンセーバー起動後は、[戻る]をプレスするとスクリーンセーバーを終了することができます。

- [メニュー] ▶ [今すぐ起動] をプレスすると、スクリーンセーバーが起動します。

音・振動・タッチの設定

◆電話着信時の設定

電話着信時の着信音、音量、振動を設定します。

❖電話着信時の着信音設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話着信時の設定]

2 [着信音]

3 [鳴らさない]／[内蔵メロディ]／[ダウンロード]のいずれかをプレス

- [鳴らさない] をプレスした場合は、操作5に進みます。

4 着信音を選択 ▶ [このメロディを選択]

5 [OK]

✓お知らせ

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

❖電話着信時の音量設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話着信時の設定]

2 [着信音量]

3 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

- 操作3で $\square$ ボタンを押しても音量を調節できます。
- 操作2で[自動音量設定] ▶ [大きくする] をプレスすると、歩行中や騒がしい場所での音量を自動的に大きくするように設定できます。
- 本設定は、通知時の音量設定（→p.103）と連動しています。

❖電話着信時の振動設定

電話着信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

- マナーモード中は設定できません。
- [振動] を [オフ] に設定しても、着信音量を消音に設定している場合は振動します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [電話着信時の設定]

2 [振動]を[オン]／[オフ]

◆メール・通知音の設定

SMSやメール、通知受信時の通知音と音量を設定します。

※通知時の音設定

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [メール・通知音の設定]
- 2 [通知音]
- 3 [鳴らさない] / [内蔵メロディ] / [ダウンロード]のいずれかをプレス
 - [鳴らさない] をプレスした場合は、操作5に進みます。

- 4 通知音を選択 ▶ [このメロディを選択]
- 5 [OK]

※通知時の音量設定

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [メール・通知音の設定]
- 2 [音量]
- 3 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

- 操作3で[音量]ボタンを押しても音量を調節できます。
- 本設定は、電話着信時の音量設定（→p.102）と連動しています。

◆メディア音量の設定

テレビ、ネットラジオ、radiko+FM（ラジオ）、ボイスレコーダー、インターネット（動画再生）、ゲームなどの再生音の音量を調節します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [メディア音量]
- 2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

- 操作2で[音量]ボタンを押しても音量を調節できます。

◆アラーム音量の設定

お知らせタイマーやスケジュールなどの通知音の音量を調節します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [アラーム音量]
- 2 スライダーをスライドして音量を調節 ▶ [完了] ▶ [OK]

✓お知らせ

- 操作2で[音量]ボタンを押しても音量を調節できます。

◆ダイヤルパッド操作音の設定

ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定]
- 2 [ダイヤルパッド操作音]を[オン] / [オフ]

◆マナーモード時の振動設定

マナーモード設定中に着信や通知があったときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定]
- 2 [マナーモード時の振動]を[オン] / [オフ]

◆着信／通知時の振動設定

着信や通知があったときの振動の強さを設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定]
- 2 [着信／通知時の振動] ▶ 項目を選択

◆らくらくタッチの設定

画面を押し込むようにタッチパネルを操作（プレス）するかどうかを設定します。[オフ]にすると、一般的なタッチパネルの操作感（タッチ）で本端末を操作することができます。

- [らくらくタッチ] を [オン] にしている場合の操作については「プレス」をご覧ください。→p.29

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [らくらくタッチ]
- 2 [らくらくタッチ]を[オン] / [オフ]
 - ダウンロードしたアプリに対してらくらくタッチを設定する場合は、[ダウンロードしたアプリ] を [オン] にします。

◆タッチ／プレス時の振動設定

タッチ／プレスしたときの振動の強さを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ／プレス時の振動]

2 項目を選択 ▶ [OK]

◆タッチ／プレス操作の設定

✧操作音の設定

画面を操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ／プレス操作]

2 [操作音]を[オン]／[オフ]

- [操作音]を[オン]にする場合は、[オフ]をプレスした後、しばらくすると設定されます。

✧うっかりタッチサポートの設定

端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもタッチやプレス操作が行えるよう調整します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [タッチ／プレス操作]

2 [うっかりタッチサポート]を[オン]／[オフ]

◆音・振動の詳細設定

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音・振動・タッチの設定] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

画面ロック音：トップ画面を解除またはトップ画面以外で画面を消灯させたときに音でお知らせするかどうかを設定します。

ロック解除時の振動：トップ画面を解除したときに振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電時の振動：充電開始時および完了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

充電通知音：充電開始時および完了時に音でお知らせするかどうかを設定します。

電池残量警告音：電池残量が少なくなったときに音でお知らせするかどうかを設定します。

通信の設定

- Bluetooth機能については「Bluetooth®通信」をご覧ください。→p.70

◆Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE 802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

✧Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続

- Wi-Fiに接続すると、ステータスバーに (Wi-Fi接続中のステータスアイコン) が表示されます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi]を[オン]

2 [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択] ▶ Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[登録] ▶ [閉じる] をプレスします。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能が有効のときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークの品質が悪いときは、一時的に5G/LTE/3G/GPRSネットワークに切り替わる場合があります。また、Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に5G/LTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

- アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると「パスワードを確認して、もう一度お試しください」と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「dアカウント」の設定が必要です。次の方法で設定してください。
 - ホーム画面で [本体設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]
- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択し、[ネットワークへ接続] をプレスしてください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
 - ※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、などが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択]
- 2 [メニュー] ▶ [ネットワークを追加]
- 3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力
- 4 [セキュリティ]の[編集] ▶ セキュリティを選択
 - セキュリティは [なし] / [WEP] / [WPA/WPA2-Personal] / [WPA/WPA2-Enterprise] のいずれかを設定できます。
- 5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力 ▶ [登録] ▶ [閉じる]

❖Wi-Fiネットワークの切断

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [ネットワークの選択]
- 2 接続しているWi-Fiネットワークを選択 ▶ [ネットワークを削除] ▶ [削除する] ▶ [閉じる]

❖Wi-Fiの詳細設定

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [詳細設定]
- 2 各項目を設定
 - ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
 - Wi-Fi機能が無効の場合は設定できません。
 - 証明書のインストール：新規にCA証明書を表示します。
 - MACアドレス：MACアドレスが表示されます。
 - IPアドレス：IPアドレスが表示されます。

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

- 1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [Wi-Fi簡単登録]

- 2 画面の案内に従って操作

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては接続できない場合があります。接続できない場合は手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティによっては、接続できない場合があります。

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

◆USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 02（別売）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続
- 2 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [テザリング]
- 3 [USBテザリング]を[オン]／[オフ]

✓お知らせ

- Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング]を[オン]／[オフ]
 - Wi-Fiアクセスポイントの設定画面が表示された場合は、必要に応じて設定を変更して[登録]をプレスします。→p.106

◆Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時は、ネットワーク名には [F52BXXXX]（XXXXは4桁の数字）が、セキュリティには [WPA3-Personal] が、[パスワード] にはランダムな値が設定されています。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [テザリング] ▶ [Wi-Fiアクセスポイントを設定]
- 2 ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを選択 ▶ パスワードを入力 ▶ [登録] ▶ [閉じる]
 - セキュリティは [WPA3-Personal] [Enhanced Open] [WPA2-Personal] [なし] が設定できます。

◆Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→p.70

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [テザリング]
- 2 [Bluetoothテザリング]を[オン]／[オフ]
 - Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

◆データ使用の設定

モバイルデータ通信の有効／無効を切り替えることができます。また、設定した期間内に通信したデータ使用量に応じて、モバイルデータ利用の警告を表示することができます。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [データ使用]
- 2 [モバイルデータ]をONにする
 - [データセーバー] ▶ [データセーバーを使用] をONにすると、バックグラウンドデータを制限することができます。

✓お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。
 - ahamo プラン以外をご契約のお客様
ご利用のデータ使用量はMy docomoからご確認ください。

- ahamoプランをご契約のお客様
ご利用のデータ使用量はahamoのホームページから
ご確認いただけます。

- [データの警告と制限] ▶ [データ上限を設定] をONに設定している場合、データ使用量が指定の上限に達したときは、データ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。データ通信を再開するには[再開]をプレスします。

◆パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効/無効を切り替えてください。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク]
- 2 [モバイルデータ]を[オフ]
- 3 内容を確認して[OK]

◆アクセスポイント (APN) の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (spmode.ne.jp) はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→p.106

※利用中のアクセスポイントの確認

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

※アクセスポイントの追加 (新しいAPN)

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [メニュー] ▶ [新しいAPN]
- 3 [名前] ▶ ネットワークプロファイル名を入力 ▶ [OK]
- 4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [メニュー] ▶ [保存]

✓お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名の一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、アクセスポイント名の一覧画面で[メニュー] ▶ [新しいAPN]をプレスして再度アクセスポイントの設定を行ってください。

※アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [メニュー] ▶ [初期設定にリセット]

✓お知らせ

- アクセスポイント名の一覧画面でアクセスポイントを選択し、[メニュー] ▶ [APNを削除]をプレスすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆VPN (仮想プライベートネットワーク) への接続

VPN (Virtual Private Network : 仮想プライベートネットワーク) は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

※VPNの追加

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [VPN設定]
- 2 [+] ▶ VPN設定の各項目を設定 ▶ [保存]

※VPNへの接続

- VPNに接続すると、ステータスバーにVPN (VPN接続中の通知アイコン) が表示されます。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [VPN設定]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 必要な認証情報を入力 ▶ [接続]

❖VPNの切断

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [VPN設定]
- 2 切断するVPNを選択 ▶ [切断]

プライバシー

プライバシーに関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [プライバシー]
- 2 各項目を設定
権限マネージャ：アプリの権限の設定を変更できます。
パスワードの表示：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
通知の表示方法：すべての通知を表示するかどうかを設定します。
Google の自動入力サービス：Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかどうかを設定します。
Google ロケーション履歴：本端末を持って訪れた場所を保存するかどうかを設定します。
アクティビティ管理：ウェブとアプリのアクティビティを保存するかどうかを設定します。
広告：Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
使用状況と診断情報：使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかどうかを設定します。

セキュリティの設定

◆セキュリティ ステータス

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定]
- 2 各項目を設定
Google Play プロテクト：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかどうかを設定します。
デバイスを探す：本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかどうかを設定します。
セキュリティ アップデート：ソフトウェアアップデートの更新の有無を確認したり、更新ファイルの自動ダウンロードなどを設定したりします。
Google Play システムアップデート：Google Play でシステムのアップデートを行います。

◆セキュリティロック

電源を入れたときやスリープモードから復帰したときに認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぎます。

❖ロック画面の解除方法の変更

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [ロック解除方法の設定]
- 2 認証操作
 - ・初めて設定するとき、認証操作は必要ありません。
- 3 解除方法を選択
ロック画面を表示しない場合：[セキュリティ設定オフ]
パターンの入力で解除：[パターン] ▶ 最低4つの点を結ぶパターンを入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度パターンを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]
暗証番号の入力で解除：[暗証番号（数字のみ）] ▶ 4～8桁の暗証番号を入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度暗証番号を入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]
パスワードの入力で解除：[パスワード（英数字記号）] ▶ 英字を含む4～16桁のパスワードを入力 ▶ [次へ] ▶ もう一度パスワードを入力 ▶ [次へ] ▶ [OK]

❖セキュリティロックをかける

1 ㊦ ボタンを押す

スリープモードになり、セキュリティロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、㊦ ボタンを押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✓お知らせ-----

- Google アカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されている Google アカウントでログインしてください。
<https://www.google.com/android/devicemanager>
- 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
- Google アカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖ロック画面の解除

1 スリープモード中に㊦ ボタンを押す

2 セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作

【パターン】の場合：パターンを入力

【暗証番号（数字のみ）】の場合：暗証番号を入力▶【決定】

【パスワード（英数字記号）】の場合：パスワードを入力▶【決定】

✓お知らせ-----

- 解除操作を5回連続して間違えると、「誤った回数が多すぎます」と表示され、残り時間が表示されます。表示が消えてから、もう一度解除操作を行ってください。
- ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→p.46
- セキュリティ解除方法のパターン／暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

◆指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

❖指紋認証機能利用時の留意事項

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。
なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広げるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいいたりしている
- 指に汗や脂が多く付着している
- 泥や油などで指が汚れている
- 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
- 太ったりやせたりして指紋が変化した指が極端に乾燥している
- 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照会を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪など硬いものを押し付け、指紋センサー表面に傷が入る
 - 泥などで指紋センサー表面に傷が入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。
長期間の使用によりゴミがたまることがあります
が、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖ 指紋登録

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [指紋登録]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。
- 2 [はじめる] ▶ [次へ]
- 3 登録したい指でホームボタンを押す ▶ 画面の指示に従って指紋を登録 ▶ [登録を終了する]

❖ 指紋認証の操作

- 1 ロック画面で、登録した指で指紋センサー（ホームボタン）に触れる
 - 正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法（パターン／暗証番号／パスワード）で認証操作を行ってください。

◆ PINコードの設定

❖ SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [SIMカードロック]
- 2 [SIMカードをロック]を[オン]
- 3 PINコードを入力 ▶ [決定] ▶ [OK]

✓お知らせ

- ご契約時は「0000」に設定されています。

❖ PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（SIMカードロックの設定）する必要があります。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [SIMカードロック] ▶ [SIM PINの変更]
- 2 現在のPINコードを入力 ▶ [決定] ▶ [OK]
- 3 新しいPINコードを入力 ▶ [決定] ▶ [OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [決定] ▶ [OK] ▶ [OK]

❖ PINコードの入力

- 1 電源を入れる ▶ コード入力画面でPINコードを入力 ▶ [決定]

❖ PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- 1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力 ▶ [決定]
- 2 新しいPINコードを入力 ▶ [決定]
- 3 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [決定]

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [信頼できる認証情報]

✓お知らせ

- ・インストールした証明書を削除する場合は、「認証情報の消去」の操作を行ってください。→p.111

❖認証情報や証明書のインストール

- ・認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [証明書のインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力 ▶ [OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力 ▶ [OK]

❖認証情報の消去

すべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [認証情報の消去] ▶ [OK]

◆通知の表示方法を設定

トップ画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [セキュリティの設定] ▶ [通知の表示方法を設定]

2 項目を選択

- ・[一部の通知以外は表示しない] を選択すると、トップ画面に新着通知のみ表示されます。

◆スマートフォンの暗号化の設定

[スマートフォンの暗号化] では、内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- ・本端末では [スマートフォンの暗号化] の設定を変更することはできません。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します（Wi-Fi接続時の利用も含む）。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウドの設定を行います。

ドコモアプリデータバックアップ：各アプリのデータバックアップ／復元の設定や、データがバックアップされたアプリの一覧を確認できます。

ドコモアプリ管理：アプリのアップデートなどを行います。

おすすめアプリ：おすすめアプリの設定や、過去に受信した通知の確認ができます。

おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や過去に表示されたヒントの確認ができます。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

端末アプリ情報送信：アプリ情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。

会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。

ドコモサービス初期設定：端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✓お知らせ

- ・ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

エコモードの設定

画面の明るさや表示、端末の処理速度を制限して消費電力を抑えます。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [エコモードの設定]
- 2 各項目を設定
エコモード：[オン] にすると、すぐにエコモードが起動します。
自動エコモード起動：[電池残量設定] で設定した電池残量より少なくなったときに、エコモードを起動するかどうかを設定します。
電池残量設定：エコモードを起動する電池残量値を設定します。

✓お知らせ

- ・エコモードは①エコモード、②自動エコモード起動の優先順位で動作します。
- ・お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。
- ・アプリによっては、本機能の効果を得られない場合があります。

音声読み上げの設定

音声読み上げに関する設定を行います。

- ・本機能を利用するには、あらかじめ[らくらくタッチ]を[オン]にする必要があります。→ p.103

◆音声読み上げ設定

音声読み上げの動作、声質、速さ、音量を設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音声読み上げの設定] ▶ [音声読み上げ設定]
- 2 各項目を設定
動作：音声読み上げを利用するかどうかを設定します。
 - ・注意画面が表示された場合は、内容を確認して[設定する] ▶ [OK] をプレスします。声質：男声が女声を設定します。
速さ：読み上げる速さを設定します。
音量：音量を調節します。

◆音声読み上げの単語の登録

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音声読み上げの設定] ▶ [読み上げ単語登録]
- 2 [新規登録]
登録した単語を修正：単語をプレス ▶ [修正する]
登録した単語を削除：単語をプレス ▶ [削除する] ▶ [削除する] ▶ [OK]
- 3 [読み上げる単語]に単語を入力 ▶ [決定]
- 4 [読み]に読みかたを入力 ▶ [決定]
- 5 [完了] ▶ [OK]

◆読み上げ操作ガイド

音声読み上げの各操作方法について音声で説明します。

- ・あらかじめ音声読み上げ設定を[オン]にしてください。→ p.112

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音声読み上げの設定] ▶ [読み上げ操作ガイド]
- 2 項目を選択

◆読み上げ操作練習

音声読み上げ操作の練習を行います。

- ・あらかじめ音声読み上げ設定を[オン]にしてください。→ p.112

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音声読み上げの設定] ▶ [読み上げ操作練習]
- 2 各項目を操作

◆タッチで動作設定

2本の指で3回タッチして音声読み上げ設定のオン／オフを切り替えるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [音声読み上げの設定]
- 2 [タッチで動作設定]を[オン]／[オフ]
 - ・注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK] をプレスします。

◆機能説明や情報などの読み上げ

音声読み上げ設定（→p.112）を「オン」にすると、読み上げに対応する項目に指で軽く触れたとき、画面のタイトルや情報、操作方法などを自動的に読み上げます。ただし、一部のサイトやアプリでは対応していない場合や、正しく読み上げない／読み上げを繰り返す場合があります。

- 読み上げまたは操作が可能な画面内の項目単位に、フォーカス（枠）が表示されます。
- 画面に軽く触れたとき、画面によっては読み上げと同時に音がする場合があります。ただし、すぐに指を離すと音は鳴りません。
- 読み上げ中に  ボタンを押すと、読み上げの音量が変更されます。
- マナーモード中は、読み上げ音声はスピーカーから出力されません。ただし、イヤホン接続時にはイヤホンへ読み上げ音声を出力します。
- 暗証番号やパスワードを入力しているときは、セキュリティを考慮して読み上げを行いません。イヤホン（ワイヤレスイヤホンを除く）を接続してご利用ください。
- ピンチイン／ピンチアウトやおまかせズームは利用できません。
- スグ電（応答）は利用できません。
-  ボタン長押しで静止画撮影の起動／動画撮影などの起動はできません。
- 音声入力アプリは、読み上げの音量を下げてご利用ください。

■音声読み上げ設定時の操作

- 一部のアプリでは機能が正しく動作しない場合があります。
- 一部のアプリでは操作が変更されます（タッチで決定となる操作が、プレスでの決定に変わります）。

操作種別	操作
指で触れている部分のテキスト読み上げ	1本指で項目に触れる、または1本指を動かして項目に触れる
フォーカス移動してテキスト読み上げ（順送り）／（逆送り）	1本指でフリック（右）／（左）
スクロール（上）／（下）／（左）／（右）	2本指で触れたまま指を（上）／（下）／（左）／（右）に動かす、または2本指でフリック（上）／（下）／（左）／（右）
選択項目を決定	1本指で選択項目をプレス／項目にフォーカスが当たっている状態で、1本指で画面の任意の場所を2回タッチ（タップ）
読み上げを中断	2本指でタッチ（タップ）、または  ボタンを押す
画面構成読み上げ	3本指でタッチ（タップ）
トップ画面の解除	2本指でスライド、または1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
もう一度読み上げ	 ボタンを押す
画面内をすべて読み上げ	 ボタンを押す（3秒以上）※1
現在位置以降をすべて読み上げ	 ボタンを押す（3秒未満）※2
単位を切り替えて読み上げ※3	1本指で触れたまま、指を上下にすばやく、こするように操作して単位を切り替えた後、1本指でフリック（上）／（下）
Webページの読み上げジャンプ指定を切り替えて読み上げ※4	1本指で触れたまま、指を左右にすばやく、こするように操作してジャンプ指定を切り替えた後、1本指でフリック（上）／（下）
単位読み上げ（前へ）／（次へ）	1本指でフリック（上）／（下）
アラーム音停止	1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
スライダーの値を増減（減らす）／（増やす）※5	1本指でフリック（上）／（下）

※1 1秒間隔で「ブッ・ブッ・ピッ」と音が鳴ります。

※2 1秒間隔で「ブッ」と音が鳴ります。

※3 1文字読み→こま切れ読み→段落読みの順に、読み上げるよう切り替えます。

※4 見出しジャンプ→リンクジャンプ→フォームコントロールジャンプの順に読み上げるよう切り替えます。また、Webコンテンツにフォーカスが当たっている状態で操作します。

※5 スライダーにフォーカスが当たっている状態で操作します。

■電話着信時および通話中の操作

操作種別	操作
電話を受ける	1本指ですばやく下から上へ大きくフリック
着信音を止めて、受話口から電話帳に登録されている発信者名を読み上げ※	 ボタンを押す

※ 電話帳に登録されていない場合は発信者番号を読み上げます。

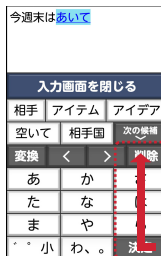
■文字入力時の操作

操作種別	操作
親指ベルトを表示	文字を入力した後、ソフトウェアキーボードのふちの部分を外側から内側に指をスライドして「ポロン」という音が鳴ったら、その指を上または下に動かす
編集中の文章全体を読み上げ	文字を確定した後、  ボタンを押す（1秒以上）※1、2
編集中の未確定文字を読み上げ	文字を入力した後、  ボタンを押す（1秒以上）※1、3

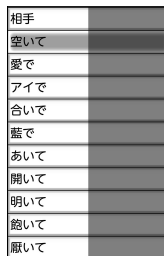
- ※1 1秒間隔で「ブッ・ブッ・ピッ」と音が鳴ります。
 ※2 音声読み上げ設定の「声質」で設定している声で読み上げます。
 ※3 音声読み上げ設定の「声質」で設定している声と反対の声で読み上げます。

親指ベルト

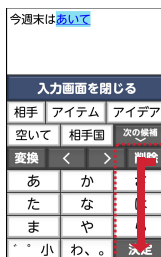
親指ベルトとは、文字入力の際に簡単に変換候補／予測候補を選択できるようにする機能です。
 文字を入力した後、ソフトウェアキーボードのふちの部分を外側から内側に指をスライドして「ポロン」という音が鳴ったら、その指を上にも動かすと変換候補、下にも動かすと予測候補が表示されます。親指ベルトの変換候補／予測候補一覧の濃いグレー部分が親指ベルト領域です。



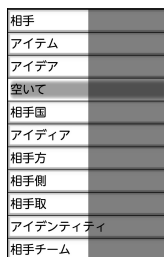
文字入力画面



変換候補一覧画面



文字入力画面



予測候補一覧画面

親指ベルト領域では、1本指で上下にスライドすると変換候補／予測候補を選ぶことができます。目的の変換候補／予測候補に薄いグレー部分を移動させ、1本指でプレスして確定します。

カメラキー長押しの設定

トップ画面とホーム画面でのカメラボタン（ ボタン）長押し時の動作を設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [カメラキー長押しの設定]
- 2 [静止画撮影の起動]／[動画撮影の起動]／[d払いの起動]／[ほかのアプリの起動]
 - [ほかのアプリの起動] に設定した場合は、設定するアプリを選択します。

✓お知らせ

- [静止画撮影の起動]／[動画撮影の起動] に設定した場合、セキュリティロック中の起動では撮影した動画の再生ができません。
セキュリティロック解除後に動画を再生してください。

Digital Wellbeing と保護者 による使用制限

本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

2 各項目を設定

Google

Google のアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google 設定の詳細については、Google 画面で ⓘ をプレスしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [Google]
Google 画面が表示されます。

2 各項目を設定

アプリケーションの削除

- Play ストアで入手したアプリは、Google Play 画面で削除することをおすすめします。→p.74
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。
- 「アプリの削除」からも、アプリケーションを削除できます。→p.120

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [アプリケーションの削除]

2 削除するアプリを選択

3 [削除する]／[削除しない]

- 操作3で「削除する」を選択した場合は「OK」が表示されるのでプレスしてください。

アカウント

アカウントの基本設定や管理や追加を行います。

◆アカウントの追加

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 [アカウントの追加] ▶ アカウントの種類を選択 ▶ 画面の案内に従って操作

✓お知らせ

- 本端末に複数の Google アカウントを追加することができます。
- [本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期] ▶ [データの自動同期] を「オン」にすると、Google などのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。

◆アカウントの削除

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 削除するアカウント名をプレス ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

- docomoのアカウントは削除できません。

◆手動で同期を開始

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [アカウントと同期]

2 同期するアカウント名をプレス ▶ [アカウントの同期]

3 [メニュー] ▶ [今すぐ同期]

■同期の中止

1 同期中に[メニュー] ▶ [同期をキャンセル]

緊急時ブザー

緊急時ブザーを有効にしておくと、緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。→ p.40

◆緊急時ブザーの設定

- ・[緊急時ブザー] を [オン] にすると、ステータスバーに (緊急時ブザーのステータスアイコン) が表示されます。

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [緊急時ブザー]

2 [緊急時ブザー] を [オン] ▶ [オンにする]

◆自動音声電話発信の設定

緊急時ブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信するかどうかを設定します。

- ・あらかじめ [緊急時ブザー] を [オン] にしてください。

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [緊急時ブザー]

2 [自動音声電話発信] を [オン] / [オフ]

◆発信先番号の登録

緊急時ブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信する相手を登録します。

- ・音声電話を発信する相手は最大3件登録できます。
- ・操作4で [ワンタッチダイヤルから選ぶ] または [電話帳から選ぶ] から登録する場合は、あらかじめワンタッチダイヤルまたは電話帳に電話番号を登録してください。→ p.51、p.54

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [緊急時ブザー]

2 [発信先番号の登録]

3 [未設定]

発信先番号を登録している場合は、次の操作を行うことができます。

発信先番号を変更: 変更する発信先番号を選択 ▶ [登録相手を変更] ▶ [ワンタッチダイヤルから選ぶ] / [電話帳から選ぶ] / [電話帳を新規登録する] のいずれかをプレス ▶ 画面の案内に従って操作 ▶ [OK]

発信先番号を解除: 解除する発信先番号を選択 ▶ [発信先番号から解除] ▶ [OK]

4 目的的操作を行う

ワンタッチダイヤルから選択: [ワンタッチダイヤルから選ぶ] ▶ 発信する相手を選択 ▶

[OK]

電話帳から選択: [電話帳から選ぶ] ▶ 発信する相手を選択 ▶ [OK]

- ・発信する相手の電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、発信する電話番号を選択します。

電話帳に新規登録して選択: [電話帳を新規登録する] ▶ 発信する相手を電話帳に登録 ▶ [OK]

✓お知らせ

- ・発信先番号に設定した電話帳を修正して上書き登録すると、発信先番号も修正した内容に変更されます。
- ・次の場合は、発信先番号の設定が解除されます。必要に応じて再度登録してください。
 - 発信先番号に設定した電話番号を削除した場合
 - 発信先番号に設定した電話帳を削除した場合
 - 電話帳でドコモクラウドの同期方法を変更した場合 (同期方法で「クラウドの連絡先データを利用」を選択した場合)

◆ブザー検索設定

GPS機能を利用して居場所を通知できるようにする場合は、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。

- ・あらかじめ [緊急時ブザー] を [オン] にしてください。

1 ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [緊急時ブザー]

2 [ブザー検索設定] を [オン] / [オフ]

- ・「アプリケーションプライバシーポリシー」画面が表示された場合は、内容を確認して [アプリケーションプライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約の全文を確認しました] にチェックを付ける ▶ [利用開始] をプレスし、画面の案内に従って操作してください。

保存領域

◆メモリ容量の確認

本端末、microSDカードの合計容量と空き容量を確認します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他]

2 [保存領域]

3 合計容量と空き容量を確認

◆microSDカードのデータ消去 (フォーマット)

• 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他]

2 [保存領域] ▶ [microSD内データを消去]

3 [SDカードをフォーマット] ▶ [完了]

自分から設定

健康系のアプリで利用する基本情報や、あわせるビュー、歩数・活動量計の設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [自分から設定]

2 各項目を設定

基本設定：誕生日、性別、身長、体重を設定します。

あわせるビュー：年齢に合わせて、画面の色合いを調整するかどうかを設定します。

歩数・活動量計設定：歩数のカウントや活動量の計測を開始するかどうかを設定します。

• カウント中の歩数や計測中の活動量も含めた履歴をすべて削除する場合は、[歩数・活動量の履歴削除] をプレスします。

◆歩数・活動量計で使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
 - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われないことがあります。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池残量がゼロの状態で約1か月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

バックアップ・リセット

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [バックアップ・リセット]

2 各項目を設定

データのバックアップ：アプリの設定やデータなどを Google サーバーにバックアップするかどうかを設定します。

バックアップアカウント：Google サーバーにバックアップするアカウントを設定します。

自動復元：アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかどうかを設定します。

データの初期化：→p.118

◆本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- 初期化中に電源を切らないでください。
- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→p.117

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [バックアップ・リセット] ▶ [データの初期化]

本体の各種設定および、保存領域の全データが削除される旨のメッセージが表示されます。

2 [すべてのデータを消去]

3 [削除する]／[削除しない]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

✓お知らせ

- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [日付と時刻]

2 各項目を設定

24時間表示：時計表示を24時間表示にするか、12時間表示にするかを設定します。

自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

日付設定：日付を手動で設定します。

- ・[自動設定] を [オフ] にすると、設定できません。

時刻設定：時刻を手動で設定します。

- ・[自動設定] を [オフ] にすると、設定できません。

タイムゾーン自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかどうかを設定します。

タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。

- ・[タイムゾーン自動設定] を [オフ] にすると、設定できます。

✓お知らせ

- ・表示形式を12時間表示に設定しても、写真／動画の情報で表示される時刻などは、12時間表示では表示されません。

印刷

◆デフォルト印刷サービスでプリンタを接続

デフォルト印刷サービスではプリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [印刷]

印刷画面が表示されます。

2 [デフォルト印刷サービス] ▶ [デフォルト印刷サービス]がONになっていることを確認

対応のプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、
⋮ ▶ [プリンタを追加] をプレスして手動でプリンタを追加してください。

◆印刷

〈例〉Chrome で印刷する

1 ホーム画面で[Google] ▶ [Chrome] ▶ ⋮ ▶ [共有⋯] ▶ [Chrome 印刷]

- 接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 印刷を実行

✓お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

診断データ送信

詳細な診断データを提供し、端末の品質向上に役立っています。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [診断データ送信]

2 [診断データ送信] を[オン]

3 [利用規約を表示] ▶ [同意する]

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報]

2 項目を確認

システム アップデート：→p.130

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。

法的情報：サードパーティ ライセンスや

Google利用規約などに関する詳細を表示します。

認証：認定および準拠マークに関する詳細を表示します。

モデル番号／Androidバージョン／Androidセキュリティパッチレベル／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

高度な設定

◆アプリケーション情報

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

※本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報]

2 アプリを選択

3 [権限]

※アプリのデータやキャッシュの削除

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報]

2 アプリを選択

3 [ストレージとキャッシュ]

4 [ストレージを消去] / [キャッシュを削除]

- [ストレージを消去] を選択した場合は [OK] をプレスします。

※アプリの削除

- Play ストアで入手したアプリは、Google Play 画面で削除することをおすすめします。→p.74
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。
- 「アプリケーションの削除」からもアプリケーションを削除できます。→p.115

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報]

2 アプリを選択

3 [アンインストール] ▶ [OK]

✓お知らせ-----

- アプリを削除すると、ホーム画面のアイコンも消去されます。

※アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリは、ホーム画面に表示されず、起動もできなくなります。ただし、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報]

2 アプリを選択

3 [無効にする] / [有効にする]

- [無効にする] を選択した場合は [アプリを無効にする] をプレスします。

✓お知らせ-----

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。有効にしたアプリは、「ダウンロードしたアプリ」カテゴリに配置されます。

※アプリの強制停止

アプリがフリーズして画面が停止した場合、強制停止することで回避します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報]

2 アプリを選択

3 [強制停止] ▶ [OK]

◆ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [ユーザー補助]

2 各項目を設定

音量キーのショートカット:  ボタンを同時に約3秒押すことでユーザー補助機能を起動できるようにするかを設定します。また、ショートカットに割り当てたユーザー補助機能を選択できます。

おすすめ使い方ヒント: 操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。

テキスト読み上げの設定: テキスト読み上げに関する設定を行います。

色補正: 色補正機能に関する設定をします。

色反転: 色を反転させるかを設定します。

アニメーションの削除: 画面のアニメーション表示を無効にするかを設定します。

モノラル音声: 音声をモノラルで出力します。

オーディオバランス: 左右のオーディオバランスを設定します。

◆デバイス管理機能の選択

デバイス管理機能を表示または無効にします。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [デバイス管理機能の選択]

2 項目を選択

3 [このデバイス管理アプリを有効にする] / [このデバイス管理アプリを無効にする]

◆NFC設定

・NFCについて→p.71

◆通知へのアクセス

通知にアクセスできるアプリに対して、アクセスを許可するかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [通知へのアクセス]

2 通知するアプリをプレス

3 [許可しない] / [許可]

◆使用状況にアクセスできるアプリ

端末上のアプリ使用状況データにアクセスできるアプリを管理します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [使用状況にアクセスできるアプリ]

◆電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [電池の最適化]

2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]

3 設定を変更するアプリを選択 ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

◆電池長持ち充電

電池を100%まで充電するか、電池の寿命をより長くするために電池残量85%で充電を停止させるかを設定します。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [電池長持ち充電]

2 [電池長持ち充電]を[オン] / [オフ]

・注意画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]をプレスします。

◆アプリケーションの履歴を表示しない

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定]

2 [アプリケーションの履歴を表示しない]を[オン] / [オフ]

◆メンテナンス用設定

本端末のメンテナンス用の設定です。

・設定によっては正常に動作しなくなるおそれがありますので、内容を十分ご理解の上、操作を行ってください。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [メンテナンス用設定] ▶ [変更する]

2 各項目を設定

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくで利用になります。国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

✓お知らせ

- ・国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。
- ・「ドコモ海外利用」アプリのヘルプは、次の操作をご覧ください。
 - ホーム画面で「トラベル」▶「ドコモ海外利用」▶▶「ヘルプ」

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定を「オン」にしてください。→ p.123

✓お知らせ

- ・接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- ・接続している通信事業者名は、次の方法で確認してください。
 - ホーム画面で「本体設定」▶「その他」▶「端末情報」▶「端末の状態」▶「ネットワーク」

海外でご利用になる前に

◆出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申込みは不要で廃止はできません。

■充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ずahamoのホームページで詳細をご確認ください。

- ・ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様で自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になります。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になりません。

- ・海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→p.51）、海外から（→p.125）
- ・設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆滞在国内の確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

■接続について

「モバイル ネットワーク」の「ネットワークを自動的に選択」を「オン」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆海外で利用するための設定

◇データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「オン」にする必要があります。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定]
- 2 [モバイル ネットワーク]
- 3 [データローミング]を「オン」／「オフ」
 - ・「オン」にする場合は、「許可する」をプレスします。

◇通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [ネットワークを自動的に選択]
 - ・利用可能なネットワークを検索して表示します。
 - ・ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、パケット通信を無効にしてから再度実行してください。→p.107

2 通信事業者のネットワークを選択

✓お知らせ

- ・自動でネットワークを切り替える場合は、ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [ネットワークを自動的に選択] を「オン」に設定してください。

◇優先ネットワークの種類の設定

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定]
- 2 [モバイル ネットワーク] ▶ [優先ネットワークの種類]
- 3 [5G/4G/3G/GSM]／[4G/3G/GSM]／[3G/GSM]／[GSM]のいずれかをプレス

✓お知らせ

- ・優先ネットワークの種類を自動に設定する場合は、ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [優先ネットワークの種類] ▶ [5G/4G/3G/GSM] に設定してください。

◇国際ローミング中にVoLTEを利用する

国際ローミング中にVoLTEが利用可能なときは、VoLTEを使用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [通信の設定] ▶ [モバイル ネットワーク]
- 2 [通話モード設定]を「オン」／「オフ」

◇日付と時刻について

[日付と時刻] の [自動設定]、[タイムゾーン自動設定] を「オン」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- ・海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- ・補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ・「日付と時刻」→p.118

◇お問い合わせについて

- ・本端末やnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- ・一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。
- ・ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在先から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- ・先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。
- ・接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で【電話／電話帳】

2 +（「0」をロングプレス）▶ 国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- ・地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- ・電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 【電話をかける】

4 通話が終了したら【電話を切る】

◆滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で【電話／電話帳】

2 電話番号を入力

- ・一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 【電話をかける】

- ・「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は「元の番号で発信」をプレスします。

4 通話が終了したら【電話を切る】

◆海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- ・滞在先に関わらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。

+（「0」をロングタッチ）-81（日本の国番号）-先頭の「0」を除いた電話番号

◆滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ

- ・国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

※相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- ・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [電話の設定] ▶ [海外設定]

2 各項目を設定

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。

ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

ローミングガイダンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。

ネットワークサービス：→p.125

◆ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- ・あらかじめ「遠隔操作設定」を開始する必要があります。→p.51
- ・海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- ・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[本体設定] ▶ [電話の設定] ▶ [海外設定] ▶ [ネットワークサービス]

2 サービスを選択

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するかどうかを設定します。

番号通知お願ひサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

ローミング着信通知（有料）：→p.125

ローミングガイダンス（有料）：→p.125

留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）

転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■海外でパケット通信を利用した場合

[データローミング] を [オフ] に設定してください。→p.123

■帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ・[優先ネットワークの種類] を「5G/4G/3G/GSM」に設定してください。→p.123

- ・[モバイル ネットワーク] の [ネットワークを自動的に選択] を [オン] に設定してください。→p.123

トラブルシューティング (FAQ)

◆故障かな？と思ったら

- ・故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ・ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.130
- ・気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- ・電池切れになっていませんか。→p.23

●画面が動かない／電源が切れない

- ・画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に $\odot$ ボタンと $\odot$ ボタンを同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。
- ・ $\odot$ ボタンと $\odot$ ボタンを同時に32秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせランプが点灯しない、または点滅する）

- ・アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- ・アダプタと本端末が正しくセットされていますか。
- ・ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか。→p.24
- ・USBケーブル A to C 02（別売）などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- ・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇してお知らせランプ（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ・低温では満充電にならない場合がありますが、異常ではありません。

■端末操作・画面

●プレスしたり、ボタンを押したりしても動作しない

- ・電源が切れていませんか。→p.25
- ・スリープモードになっていませんか。 $\odot$ ボタンを押して解除してください。→p.25

●電池の使用時間が短い

- ・複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
- 実行中のアプリを終了→p.30
- ・圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードを「オン」にするか、電源を切ってください。→p.25、p.100
- ・内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（→p.131）をご確認ください。
- ・Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→p.104、p.70

●nanoUIMカードが認識されない

nanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.21

●タッチパネルをプレスしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、また、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。→p.23

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止することがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
 - 非常用節電モードの設定→p.31
 - 画面の明るさの設定→p.101
 - 消灯までの時間設定（スリープモード）→p.101
 - エコモードの設定→p.112
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなる場合があります。

●ディスプレイがちらつく

画面の明るさの設定の自動調整を設定していると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→p.101

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の自動設定やタイムゾーン自動設定を「オン」に設定し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→p.118

●端末動作が不安定

- お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
次の方法でセーフモードを起動してください。
 - 電源を切った状態で  ボタンを2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてからトップ画面が表示されるまでの間、 ボタンを押し続けるセーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。
- ※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
- ※ セーフモードを起動すると、ダウンロードしたアプリがホーム画面やメニューでグレーのアイコンで表示され、起動できなくなります。セーフモードを終了すると、通常のアイコンに戻ります。
- ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。
- ※ アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こるなど）

無効化されているアプリはありますか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→p.120

●プレスしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→p.25

■通話・音声

●【電話をかける】をプレスしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→p.100

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、マスク通話モード、あわせるボイス、ゆっくりボイスを設定すると相手の声が聞き取りやすくなります。→p.48

●通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、nanoUIMカードを取り付け直してください。→p.21、p.25
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は  を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.51
- ネットワークモードの種類（4G/3G/GSM（自動））を変更していませんか。→p.123
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●通話中、自分の声が相手に届かない

送話口／マイク部分を指などでふさいでいませんか。→p.20

●着信音が鳴らない

- ・電話着信時の音量設定を確認してください。→p.102
- ・次の機能を起動していませんか。
 - マナーモード→p.41
 - 機内モード→p.100
 - 運転中モード→p.99
- ・着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→p.51
- ・伝言メモの着信呼出設定を0秒に設定していませんか。→p.49
- ・留守番電話サービスの呼出時間設定、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していませんか。→p.51

●電話がつかまらない

- ・nanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→p.21
- ・市外局番から入力していますか。
- ・機内モードを設定していませんか。→p.100

■メール

●メールを自動で受信しない

メールの受信設定の[自動通信設定]を[自動で通信しない]に設定していませんか。→p.59

■テレビ・カメラ

●テレビの視聴ができない

- ・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外にいるか放送波の弱い場所にいませんか。テレビアンテナケーブルの向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなる場合があります。p.78
- ・視聴している地域に合ったチャンネルリストを使用していますか。視聴している地域が変わったときは、視聴画面で[メニュー] ▶ [チャンネルリストを設定する] ▶ [未登録] をプレスした後、新しいチャンネルリストを登録してください。→p.80

●カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- ・本端末のカメラには自動撮影機能が搭載されていますが、タッチオートフォーカスの機能を利用してピントを合わせることができます。→p.83

■おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- ・おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- ・NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→p.77
- ・本端末のマークがある位置を読み取り機に近づけていますか。→p.77

■海外利用

●海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ネットワークタイプの種類を[4G/3G/GSM(自動)]に変更してください。→p.123
- ・[ネットワークを自動的に選択]を[オン]に設定してください。→p.123
- ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→p.25

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング(WORLD WING)のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を[規制開始]にしていますか。→p.125

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→p.123

■データ管理

- microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→p.22

- データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

- 画像を表示しようとすると【壊れているか利用できない形式です】と表示される

画像データが壊れている場合は【壊れているか利用できない形式です】と表示される場合があります。

■Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行うには、本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→p.70、p.71

- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

◆エラーメッセージ

- 空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータを削除し、容量を確保してください。（例えば、アルバム内の撮影データを削除するなど）

本端末の空き容量が低下している場合に 표시됩니다。アルバム内の写真やビデオのデータを削除することで、端末の空き容量を増やすことができます。

- 音声通話サービス停止／データサービス停止

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

- 電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→p.23

- PUKコードがロックされました

nanoUIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に 표시됩니다。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→p.27

- SIMカードはPUKでロックされています

nanoUIMカードがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。

- SIMカードが挿入されていません

nanoUIMカードが正しく取り付けられているか確認してください。→p.21

- SIMカードはロックされています。

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→p.110

- SIM card 異常

SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。

nanoUIMカードのICが汚れているときに表示されることがありますが、故障ではありません。nanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

- ダウンロード処理中にエラーが発生しました。

同じ理由のエラーが複数回表示される場合は、本端末を再起動して再度アップデートを実行してください。

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の3つがあります。

■新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■セキュリティパッチの更新

セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性に対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◇ご利用条件

- 5G/Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイル ネットワーク設定でアクセスポイントをspmode.ne.jpに設定してください。
- 5G/Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

◆ソフトウェアアップデートを行う

◇更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

■更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。

■定期的に表示される画面から

本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。

■本体設定から

ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [システム アップデート] をプレスし、更新を開始します。

※アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

◇更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の案内に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spmode.ne.jpに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。

[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。

[2:00以降に再起動] をプレスすると、夜間に自動で再起動されます。

※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に [後で行う] をプレスしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。

※注意事項

- ・ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ・ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ・ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ・ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- ・PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ・ソフトウェアアップデートに失敗し、画面が動かなくなったり、再起動を繰り返すなどで、ホーム画面まで起動できない場合は、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。。

《復旧操作手順》

- ① 電源キーと音量キーの上を同時に約8秒間押し続ける（電源がOFFになります）
 - ② 電源がOFFになったら、電源キーと音量キーの上を離す
 - ③ 電源キーと音量キーの下を同時に約3秒間押し続ける
 - ④ バイブレーションが動作したら、電源キーと音量キーの下を離す
- ※ 以前のソフトウェアで本端末が起動し、ホーム画面が表示されます。
- ※ 上記の操作を行っても復旧できない場合は、ご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。
- ・ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
 - ・以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
 - ・ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。

保証とアフターサービス

※保証について

- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・テレビアンテナケーブルは無料修理保証の対象外となります。
- ・テレビアンテナケーブルは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- ・本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
- ※ お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■無料修理規定

- ① 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
- ② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 6. ドコモ指定の故障取扱い拠点以外で修理を行ったことがある場合。
- ③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- ④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- ⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部の修理だけでは製品の品質が保証できないため、すべて修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- ⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
- ⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

❖アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな? と思ったら」をご覧ください(→p.126)。

■修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を受付いたします。

お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上で受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

- ・以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。
銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- ・各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ・本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理をすることをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

■本体

品名		F-52B	
サイズ		高さ約143mm×幅約70mm×厚さ約9.3mm (最厚部：約9.6mm)	
質量		約143g	
ディスプレイ	サイズ	約4.7インチ	
	種類	有機EL	
	解像度（ピクセル数 横×縦）	HD（720×1280）	
	発色数	16777216色	
内蔵メモリ		RAM：3GB ROM：32GB※1	
バッテリー容量		2110mAh	
連続待受時間※2、※3	4G（LTE）	約410時間	
連続通話時間※3、※4	4G（LTE）	LTE（VoLTE）	約900分
		VoLTE（HD+）	約800分
充電時間		ACアダプタ 08：約160分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac※5準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz／5GHz)	
	MIMO対応	－	
	MU-MIMO（クライアント）対応	○	
	MIMO対応規格	－	
	MU-MIMO（クライアント）対応規格	IEEE802.11ac	
Bluetooth機能	バージョン	4.2※6	
	出力	power class 1	
	対応プロファイル※7	HFP（mSBC：16kHz、CVSD）（1.7）、HSP（1.2）、OPP（1.2）、SPP（1.2）、HID（1.0）、A2DP（SBC）（1.3）、AVRCP（1.6）、PBAP（1.2）、PAN（PAN-NAP／PANU）（1.0）、HOGP（1.0）	
イヤホンマイクジャック	端子径	3.5φイヤホンジャック	
	極数	4極	

カメラ	撮像素子	種類	外側カメラ：裏面照射積層型CMOS 内側カメラ：裏面照射型CMOS
		サイズ	外側カメラ：1/3.06インチ 内側カメラ：1/5インチ
	有効画素数		外側カメラ：約1310万画素 内側カメラ：約500万画素
	記録画素数（最大時）		外側カメラ：約1280万画素 内側カメラ：約500万画素
	記録ファイル形式	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大録画時間		約34分※8
	ズーム（デジタル）	動画	外側カメラ：最大約8.0倍 内側カメラ：－
静止画		外側カメラ：最大約8.0倍 内側カメラ：－	
動画再生	対応コーデック	H.263、H.264、H.265、MPEG-2、MPEG-4、VP8、VP9	
音楽再生	対応コーデック	AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、Opus	
ワンセグ連続視聴時間		約710分※9	
マルチリンガル機能	表示言語	日本語／英語	
	入力言語	日本語／英語	
伝言メモ	保存可能件数	最大10件	
	1件あたりの最大録音時間	最大約60秒	

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「保存領域」をご覧ください。→p.117

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以上になることがあります。

※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※5 MU-MIMO（クライアント）に対応しています。

※6 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。
Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

- ※7 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※8 ビデオ解像度が1920×1080（フルHD）の場合の撮影時間です。
- ※9 縦画面利用かつイヤホンマイク利用時の時間を示しています。

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種F-52Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※¹ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は●●●W/kg※²、身体に装着した場合のSARの最大値は●●●W/kg※³です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/FCNTの製品情報ページ>

<https://www.fmworld.net/product/phone/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 5G/LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate(SAR) Information of Mobile Phones

This model F-52B mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves※¹ and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is ●●● W/kg※², and that when worn on the body is ●●● W/kg※³. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of

this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head.
By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>
FUJITSU LIMITED Website:
<https://www.fmworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE/FOMA.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: FCNT
Model Name: F-52B
Hereby, FCNT LIMITED declares that the RE product of " F-52B" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fmworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was 1.00 W/kg^{*3} for HEAD and 1.09 W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.
Normal operation: 5°C~35°C.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880- 915MHz	32.5dBm
	DCS1800	1710- 1785MHz	30.0dBm
UMTS	FDD I	1920- 1980MHz	24.0dBm
LTE	FDD 1	1920- 1980MHz	23.5dBm
	FDD 3	1710- 1785MHz	23.5dBm
	TDD 42	3400- 3600MHz	23.5dBm
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400- 2483.5MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11g	2400- 2483.5MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11n	2400- 2483.5MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11a	5150- 5350MHz	12.0dBm
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5470- 5725MHz	12.0dBm
		5150- 5350MHz	12.0dBm
		5470- 5725MHz	12.0dBm
	IEEE 802.11n	5150- 5350MHz	12.0dBm
		5470- 5725MHz	12.0dBm
		5150- 5350MHz	12.0dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400- 2483.5MHz	10.0dBm
RFID	NFC	13.56MHz	-36.5dBuA/m at 10m

The manufacturer of this product is FCNT LIMITED with its registered place of business at 7-10-1 Chuurinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.

This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to

prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.21 W/kg*, and when worn on the body, is 1.37 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID 2AYY9FMP188). For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 0.5cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception,

which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>



High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「i チャンネル」「my daiz」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「ID」「公共モード」「パケ・ホーダイ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「spモード」「つながりもっとサポート」「dメニュー」「dマーケット」「d払い」「d ポイント」「dショッピング」「あんしん遠隔サポート」「dフォト」「はなして翻訳」「マイマガジン」および「i チャンネル」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「エリアメール」ロゴ「つながりもっとサポート」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「d払い」ロゴ「d ポイント」ロゴ「dショッピング」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「dフォト」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「ドコモデータコピー」ロゴ「マイマガジン」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。Copyright© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部分に **ACCESS[®] NetFront[®]** Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube、およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、FCNT株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- この機器に搭載されている「UD新丸ゴ」フォントは株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新丸ゴ」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Vidhance® and Vidhance® Live Auto Zoom™」はIMINT Image Intelligence AB社の商標です。
- らくらくAIベストショットはFCNT株式会社の商標または登録商標です。
- Morpho Motion Sensor™, MorphoMorpho Focus Peaking™, Morpho Single Camera Bokeh™, Morpho Portrait Effects™, Morpho ImageRefiner™, Morpho WDR™はモルフォの商標です。
- LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の登録商標です。
- MIMOSYSは、PST株式会社の商標または登録商標です。
- その他の本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。



◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオバイライダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されており、その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル英和辞典」「学研モバイル英和辞典」は、学研編集の著作物です。
- 本製品の一部分に、ArcSoft, Inc.が開発したモジュールが含まれています。

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアにFCNT株式会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、次をご参照ください。
ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [サードパーティ ライセンス]
オープンソースライセンスに基づきFCNT株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://spf.fmwworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>

索引

ア行

アカウント	115
削除	115
手動で同期	115
追加	115
アクセスポイント	107
確認	107
初期化	107
追加	107
新しいAPN	107
アフターサービス	131
アプリ	42
アンインストール（削除）	74, 115, 120
インストール	73
カテゴリ別アプリ	43
基本アプリ	42
キャッシュを削除	120
ストレージを消去	120
無効化	120
アプリケーション情報	120
アプリケーションの履歴を表示しない	121
アプリの権限	31
アラーム音量	103
洗いかた	17
アルバム	88
表示／再生	88
あわせるボイス	48
安心データ保存	95
位置情報機能	89
位置情報サービス	89
印刷	119
インターネット	66
ウィジェット	44
内側カメラ	20
運転中モード	99
英語ガイダンス	51
エコモードの設定	112
エラーメッセージ	129
エリアメール	65
確認	66
削除	66
受信	65
遠隔操作設定	51

オープンソースソフトウェア	139
おサイフケータイ	76
お知らせタイマー	92
お知らせランブ	20, 36
音・振動・タッチの設定	102
おまかせズーム	30, 101
音声検索	93
音声入力	32
音声読み上げ	112
音量ボタン	20

カ行

海外利用	
確認事項	122
帰国後の確認	125
設定	123
滞在先で電話を受ける	124
滞在先で電話をかける	124
通信サービス	122
外部機器接続	71
拡大鏡	84
各部の名称と機能	20
仮想プライベートネットワーク	107
カメラ	81
位置情報	83
拡大鏡	84
撮影サイズ	82, 85
撮影時の注意事項	81
スマイルムービー	83
静止画撮影画面	81
静止画（写真）撮影	82
静止画（写真）撮影設定	82
タイマー	83
タッチシャッター	83
動画撮影画面	81
動画（ビデオ）撮影	85
動画（ビデオ）撮影設定	85
撮った写真を見る	83
撮ったビデオを見る	86
花認識	86
パノラマ	84
フラッシュ	83
便利機能	82, 85
ポートレート	84
保存先切替	83, 86
ライト	85
LiveAutoZoom	86
QRコード読み取り	87
カメラキー長押しの設定	114
カメラボタン	20
画面の明るさ	101

画面の自動回転	100
画面メモ	68
画面ロック音	104
画面・ランプの設定	100
かんたんお引越し	94
簡単モード切替	99
機内モード	100
キャッチホン	51
緊急時ブザー	40, 116
緊急速報「エリアメール」	65
緊急通報	46
近接センサー	20
健康測定・歩数計	96
検索	93
公共モード（電源OFF）設定	51
高度な設定	120
国際電話（WORLD CALL）	47
国際ローミング（WORLD WING）	122
ネットワークサービス	125

サ行

サブマイク	20
時刻	118
自分から設定	117
自分の電話番号	54, 99
指紋センサー	20
指紋認証機能	109
写真撮影	82
写真表示	88
充電	23
充電時の振動	104
充電通知音	104
受話口	20
仕様	133
使用状況にアクセスできるアプリ	121
消灯までの時間	101
照度センサー	20
商標	138
初期化	118
初期設定	26
診断データ送信	119
新着通知	40
スグ電	52
スクリーンショット	30
スクリーンセーバー	102
スケジュール	91
予定の登録	91
予定の表示	91
ステータスアイコン	38
ステータスバー	38
ステータス表示エリア	39

ステレオイヤホン端子	20
ストラップホール	20
スピーカー	20
スマホかんたんモード設定	101
スライド	29
スリープモード	25, 101
スロットキャップ	20
スワイプ	29
セキュリティの設定	108
セキュリティロック	108
かける	109
設定メニュー	98
送話口	20
外側通常カメラ	20
外側マクロカメラ	20
ソフトウェアアップデート	130

タ行

ダイヤルパッド操作音	103
タスク管理	30
タッチ	29
タッチパネル	20
使いかた	29
タッチ／プレス時の振動	104
タッチ／プレス操作	104
うっかりタッチサポート	104
操作音	104
端末情報	119
知的財産権	138
着信拒否	47
着信通知	51
着信／通知時の振動設定	103
チャンネルリスト	80
著作権・肖像権	138
通気孔	20
通信の設定	104
通知アイコン	39
通知音	103
音量	103
通知パネル	39
通知へのアクセス	121
通話音量	48
通話メモ	50
使いかたガイド	28
定型文	35
ディスプレイ	20
縦／横画面表示の切り替え	30
データ使用	106
手書き入力	31
テザリング	106
Bluetoothテザリング	106

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所では本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→p.51

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●運転中モード→p.99

電話に出られない旨を発信者にガイダンスでお知らせします。

●振動→p.102

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード→p.41

着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。

※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→p.51

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から dメニュー／検索▶My docomo

パソコンから My docomo
(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にできない場合があります。

●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

**総合お問い合わせ先
(らくらくホンセンター)**

■ドコモの携帯電話からの場合

15777 (局番なしの) (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

(らくらく) (みんな)
0120-6969-37

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

113 (局番なしの) (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

ahamoプランをご契約のお客様

■故障等のお問い合わせ

ahamoのホームページ
<https://ahamo.com/>



試供品のお問い合わせ先

試供品の不明点については下記のとおりまでお問い合わせください。

FCNT携帯電話用試供品お問い合わせ窓口

0120-466-652

※携帯電話からもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日・所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングプレスします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わず回収)



モバイルリサイクルネットワーク
環境省資源循環局が推進する事業



Li-ion 00



危険です、
歩きスマホ。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 FCNT株式会社